

Top Message …P1

ホールや遊技機メーカーが抱える  
課題に対し、付加価値の高い  
ソリューション型ビジネスを展開していきます。

ダイコク電機最前線 **Fade in** …P5

- DK-SISセミナーを全国で開催
- 中日新聞社主催「地元株のすすめ」に参加
- 業界唯一のパチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」

● 営業のご報告 …P7

● セグメント別の状況 …P9



## ホールや遊技機メーカーが抱える課題に対し、付加価値の高いソリューション型ビジネスを展開していきます。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。ダイコク電機グループは、日本のアミューズメント産業の中核を占めるパチンコ業界において、ファンのニーズを原点にホールや遊技機メーカーの経営に役立つ製品を提案していくことで、業界の健全な成長を支援しております。

2008年3月期の事業の概要をご報告するにあたり、パチンコ市場における大きな環境変化や、それに対応する当社グループの取り組みなどにつきまして、代表取締役社長の栢森雅勝からお話させていただきます。



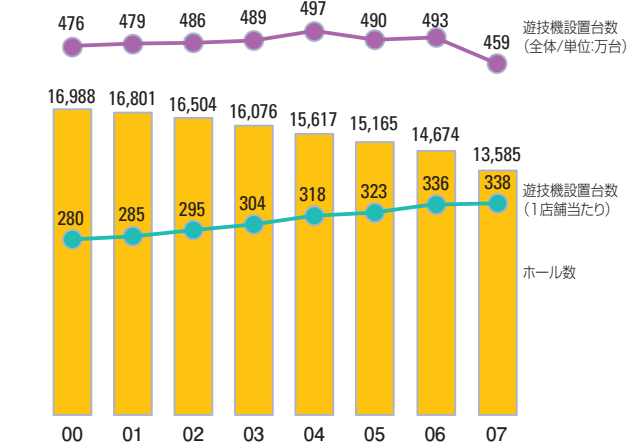
代表取締役社長 栢森雅勝

### パチンコ機の入替えに伴う市場環境の変化……………

#### ● 新基準機対応や金融情勢の変化で市場環境が激変

警察庁の発表によれば、昨年12月末時点の全国パチンコホール数は1万3,585店で、前年から1,089店舗の大幅な減少となりました。ホール数は12年連続での減少となりましたが、1年間で1,000店舗以上減少したのは1984年の新風営法の施行以来となります。1995年をピークに年間で約500店舗ずつ減少していましたが、今回はそれに改正遊技機規則の経過措置

#### ● パチンコホール数及びパチンコ・パチスロ遊技機設置台数の推移



調査資料の出处:「平成19年中における風俗関係事犯等について」(2007年12月末日現在)

期限が切れたことに伴い、厳しい業態に陥っているパチスロ遊技機専門店の減少数(540店)がそのまま上乗せされたかたちとなりました。

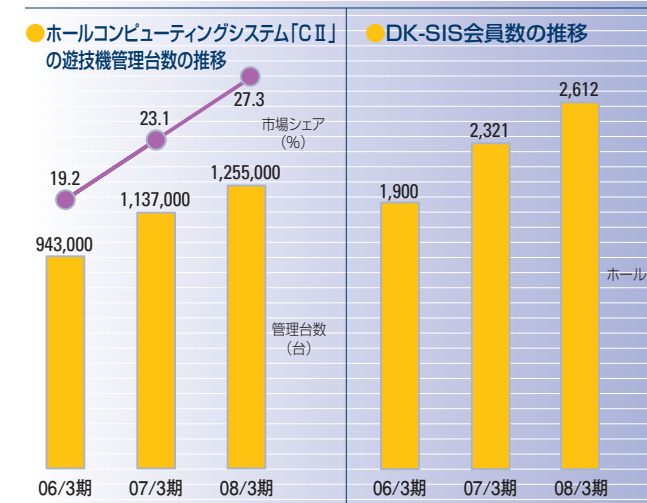
遊技機設置台数は、パチンコ遊技機が2万1,434台の増加で295万4,386台、パチスロ遊技機が36万7,622台減少して163万5,860台となりました。パチンコ遊技機は1996年の410万台をピークに10年連続で減少しておりましたが、2006年で下げ止まりの気配を見せ、今回、横這い状態に近いものの11年ぶりに増加に転じました。一方、パチスロ遊技機は1994年から12年間連続で増加し、200万台を突破していたのですが、設置有効期限切れによる新基準機への入れ替えに伴い2割近くシェアを落とすなど、パチンコ遊技機とは対照的な結果となりました。総遊技機台数は459万5777台で、パチンコ遊技機がほぼ横這いだったことで、このパチスロ遊技機の減少数がそのまま全体数の落ち込みとなりました。

また、一貫して大型化の傾向を示していた1店舗当たりの遊技機台数は337.9台になり、対前年比1.4台の増加に留まりました。比較的小規模なパチスロ遊技機専門店が大幅に減少し、本来ならば平均設置台数が大幅に増加するはずが微増に留まったのは、パチスロ遊技機の不振にひきずられたかたちで多くの既存ホールがパチスロ遊技機の減台措置をとり、店舗の台数が減少した影響と思われる。

また、昨年ホール新規出店については、設置有効期限が切れる大量のパチスロ遊技機が新基準機へ全面入れ替えとなったため、短期間で集中した投資が増えたことや、ホールの大型倒産の影響などにより金融機関の融資環境が厳しくなったこと、建築基準法の改正による建築確認の遅れなど様々な要因が重なり、昨年比比べて新規出店の数が大幅に抑えられています。

#### ● パチンコ遊技機へのシフトによるホール経営の変化

パチスロ遊技機の新基準機移行後における遊技機設置台数バランスを見ると、2006年のパチスロ遊技機設置シェアは全体の41%を占めておりましたが、2007年では36%にまで落ち込みました。一方、パチンコ遊技機では、2006年は59%の



シェアでしたが、2007年は64%にシェアアップしております。

当社「DK-SIS」の集計結果により、ホール経営の指標である「稼動時間」、「売上」、「粗利」の推移を見ますと、遊技機の稼動時間は横ばい、「売上」は前年比約10%減少しておりますが、「粗利」については新基準機に移行したパチスロ遊技機の粗利減少分を、パチンコ遊技機による利益改善でカバーし、やや微増となっております。(しかしホール業績全体で見れば、遊技機の総設置台数は約7%減少しているため、業界総売上は約17%減少し、総粗利は、約7%減少していると考えられます。)

このことから従来のパチスロファンがパチンコへ移動していることが推察でき、ホール経営者の視点で捉えた場合、今までパチスロ遊技機に依存していた経営体質をパチンコ遊技機を主力とした経営に変えていくことが、収益改善のための重要な取り組みとなります。パチスロから新しくシフトしてきたパチンコ遊技者は、従来のパチンコ遊技者とは違い、どのようなゲーム性を求めるのか、それによるパチンコ人気機種の変化への対応、ホールでの遊技者を楽しませる演出や情報公開など、経営者の手腕が問われる時代となりました。

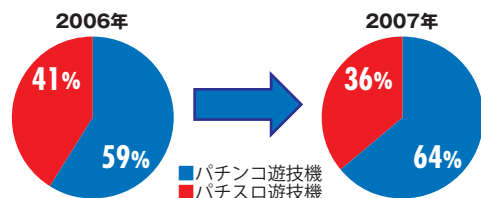
### ● 価値情報ネットワークシステムの実現

ファン、ホール、遊技機メーカーに情報が流れる仕組みを実現する。

情報が流れることで、行動が変わる。  
パチンコファン・ホール・メーカーを巻き込み、  
業界全体の行動が変わればそれは変革になる。  
ダイコク電機は、情報の流れを担って  
いくことで変革の中心となる。



### ● パチンコ・パチスロ遊技機シェアの変化



### 中長期における施策と成長戦略

#### ● ホール経営支援の最上級システム「MIRAIGATE」を展開

情報システム事業では、ホールの経営支援ツールとしてホールコンピューティングシステム「CII」を活用した遊技機管理と全国約2,600ホールの営業データを日々収集・分析し、各ホールにフィードバックする会員制情報提供サービス「DK-SIS」を組み合わせたシステムを提供してまいりましたが、昨年秋にホール経営に関わる幅

広い分野において最上級の営業支援、集客戦略、運用管理などを提供する新ブランド「MIRAIGATE」をリリースいたしました。射幸性、ゲーム性が異なる遊技機が次々と市場に投入されるなか、遊技機を楽しむポイント等の各種情報を、ファン向け情報公開機器でわかりやすく伝え、情報を自動更新させることで、遊技者の興味を引く情報を発信し、遊技機の持つポテンシャルを活かすことで、その寿命を延ばします。ホール内の運用についても、機種名を登録するだけで、当社サーバよりその機種情報が自動でダウンロードされ、煩わしい登録作業など、ホールにおける人的負担を軽減しております。コンテンツ内容は、有力業界誌や広告代理店などプロフェッショナル企業との提携で、付加価値の高い情報素材を提供しております。

ホール経営者が、「MIRAIGATE」を導入するメリットとしては、従来製品の機能強化だけではなく、ネットワークによって生まれる

柔軟性や、当社社員によるサポートにより、ホールごとの異なる経営戦略に合わせたオペレーションを個別に指導し、業績が向上するところまでサポートしていくことです。当社にとっても、ホール経営者と深い関係が構築でき、ホールが抱える課題をタイムリーに把握していくことで、次の開発への貴重な材料としております。

ファン向けの情報発信事業については、子会社DIXEO(株)がPCや携帯サイトに全国ホールの出玉情報を発信する「データロボサイトセブン」を運営しております。また、当社が運営するスカパー!ch777で放映中のパチンコ情報提供番組「パチ・スロサイトセブンTV」もデータロボサイトセブンと連携したサービスを提供することで、その会員数を順調に増やしております。

#### ● 遊技者（ファン）ニーズに適應した機能性の高いユニットを開発

制御システム事業は、遊技機メーカーの戦略的パートナーとして、表示ユニット、制御ユニットの開発・製造・販売を行っております。「DK-SIS」で全国のホールから収集したデータを解析して人気のある遊技機の傾向を読み取り、ファンが求めるトレンドを分析することで、遊技者に支持される新機種を提案しております。

テレビゲーム機や携帯画面の高画質化が進むなか、一昨 anni 子会社化したコンシューマ向けゲームメーカーの元気(株)、アミューズメント映像の制作、デザイン開発においてポテンシャルの高い関連会社(株)ラピスとの協業関係を深め、企画の段階から鍛え上げる制作体制の整備やコンピュータグラフィックの表現力向上で、グループの総合力を高め、技術体制の組織整備を進めております。

今般、ホールにおけるパチンコ遊技機の需要が高まるなか、メーカーの市場投入機種数も増加する傾向にあり、今後も開発力を高め、市場への投入機種数を増やしてまいります。

#### ● 顧客へのソリューション型ビジネスへの転換

パチンコ業界が直面している厳しい環境の中で、今後当社が成長していくためには、ファンの視点に立つことを原点として、ホール経営者、遊技機メーカー相互の情報を交流させ、その中間にポジションをとることで、当社のノウハウやシステムを活かし、それぞれの課題を解決していく、ソリューション型ビジ



ネスに転換していくことです。

情報システム事業では、営業や開発、メンテナンスのスタッフが一体となり、ホール経営者が抱えている課題を深く理解することで、それを解決していく「MIRAIGATE」システムを活用し、ホール運用を支援していくことで、ホールの業績を向上させてまいります。遊技機やシステムの優位性だけに依存するのではなく、常に遊技者（ファン）の視点に立つという原点を、徹底することで、「MIRAIGATE」システムの納入を加速度的に拡大してまいります。

制御システム事業では、パチンコ遊技機の需要が高まるなか、遊技機メーカーとのパートナーシップをより強化していくことで、一体となった企画提案型開発体制を構築し、ファンのニーズに対応したユニットの開発をスピーディに推進してまいります。

業界環境については、ネガティブな要素が2008年3月期に出尽くしたことにより、今後は業界環境の改善に貢献できる体制を構築することで、当社グループの業績回復に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

## DK-SISセミナーを 全国で開催

	来場者数
名古屋会場	329
大阪会場	302
福岡会場	200
東京会場(2日間)	614
仙台会場	148
合計(5会場、6日間)	1,593

### ●DK-SISセミナー

第1部 「DK-SIS」で見る・分かる！ 激変する業界動向と2008年の展望

第2部 パチンコ新時代到来！ 進化した「DK-SIS」が導く勝ち残りへの営業戦略



平成20年3月6日(木)の名古屋会場を皮切りに大阪・福岡・東京・仙台の全国5会場でパチンコホール経営者を対象とした2部構成のセミナーを開催いたしました。

第1部では、「DK-SIS」データを基に、現状のパチンコ業界がどのように変化しているのか、そして今後はどのように変化していくのかなど、「DK-SIS」を活用することによって把握できるポイント

を新コンテンツの活用方法も含めて解説いたしました。

そして第2部では変化していくパチンコ業界環境への対応として、今までの営業戦略を見直す必要性について解説いたしました。「パチンコ遊技機の設置機種種のシェアの見直し」や「平日・土日祝日営業戦略の見直し」などについて「DK-SIS」を利用した解決方法を説明し、「DK-SIS」の必要性についてPRいたしました。

「DK-SIS」は単に導入していただくだけでなく、遊技機の活用方法を示し、活用していただくことで更に奥深い価値を提供できるシステムですので、今後も引き続き情報発信に努めてまいります。

また、このセミナーをきっかけとして「DK-SIS」会員数の更なる増加を目指し、パチンコ業界におけるデファクトスタンダードとしての位置づけをより明確にしていきたいと考えております。

## 中日新聞社主催 「地元株のすすめ」に参加

11月23日(金)に名古屋市のミッドランドスクエア5階ミッドランドホールにて開催された中日新聞社主催の個人投資家向け企業説明会「地元株のすすめ」に参加いたしました。

当社の説明には約350名の方がご参加され、社長の栢森雅勝から事業内容や業績等の説明をさせていただきました。ご来場いただきました株主や投資家の皆さま、誠にありがとうございました。

今後もIR活動を通して当社の知名度・認知度の向上に努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。



## 業界唯一のパチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」

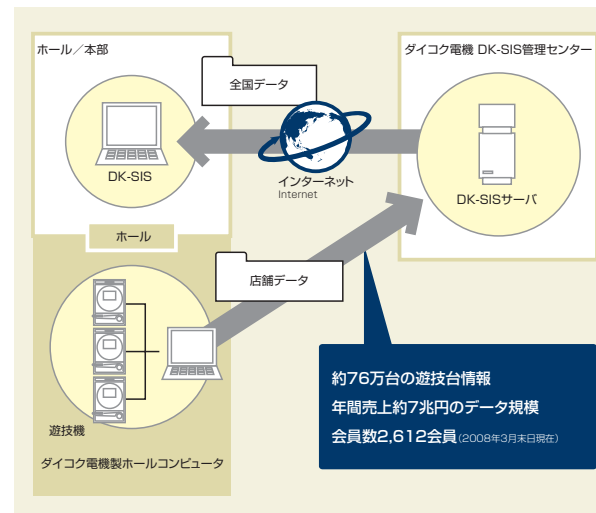
当社は、全国の会員パチンコホールから毎日送られてくる営業データを集計し、フィードバックする業界唯一の会員制情報提供サービス「DK-SIS」を展開しています。

全国に設置されている約460万台の遊技機のうち、16.6%に当たる約76万台の営業データを集計・分析し会員パチンコホールにフィードバックすることで、各会員は自店舗データと平均データとを比較することができ、これを基に店舗戦略を構築できる「DK-SIS」は、パチンコホール経営の必須ツールとして定着しています。

### ●「DK-SIS」の概要

「DK-SIS」は、会員の持つ当社製ホールコンピュータからDK-SISサーバへ営業データを送信していただき、そのデータを集計・分析した情報をインターネットで閲覧していただくことで、付加価値を高めたコンテンツとして会員へフィードバックする顧客支援システムです。

### ■「DK-SIS」の仕組み



### ●「DK-SIS」導入のメリット

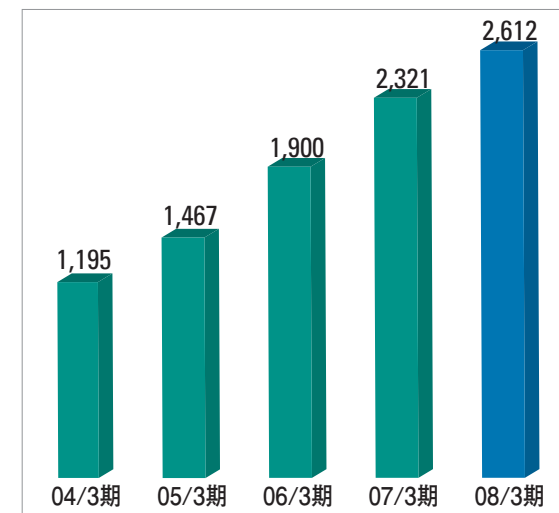
- ・業界全体の業績の基準値を知ることで、自店舗の業績の客観的な評価、データに対する詳細な分析が可能になります。(例えば、新店・店舗拡大時のパチンコ・パチスロ構成比率の検討・機種構成の検討、入替・増減台のタイミング検討等)
- ・多岐にわたる新機種種のスペックデータのシミュレーションを行うことができ、自店舗に合った最適な遊技機を検討することができます。
- ・遊技機メーカーにおいても「DK-SIS」により人気機種種の傾向を分析し、市場が求める遊技機の創出に利用することができます。

当社は「DK-SIS」が有益な情報提供コンテンツとしてパチンコ業界全体の発展に欠かせないものであると考えており、また、独自のシステム・ネットワークを活かした仕組みは他社が真似できるものではないと認識しておりますので、当社の重要なコンテンツの1つとして他のサービスと共に今後も進化を続けてまいります。

### ●会員数の推移

「DK-SIS」の会員数はここ数年順調に増加しており、2008年3月末時点で2,612件と、全国に13,585店舗あるパチンコホールの19.2%が「DK-SIS」に加入していることになります。

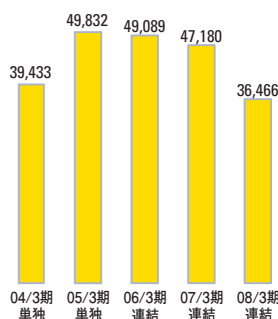
### ■「DK-SIS」会員数の推移



## 主要財務データ

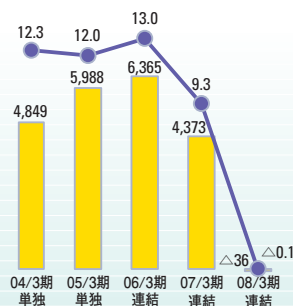
## Key Financial Data

## ●売上高 (単位:百万円)



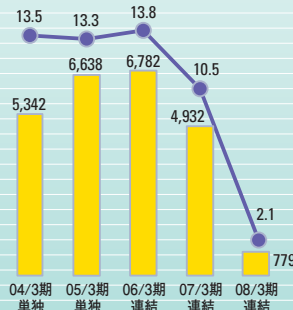
## ●営業利益 (単位:百万円)

## ●売上高営業利益率 (単位:%)



## ●経常利益 (単位:百万円)

## ●売上高経常利益率 (単位:%)



## 当連結会計年度の取り組みと成果

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、顧客であるパチンコホールでは、平成19年6月から9月にかけて設置有効期限の切れる大量のパチスロ遊技機を、新基準のパチスロ遊技機やパチンコ遊技機へ入れ替える集中的な投資が行われました。その後パチスロ遊技機の収益は低下しましたが、パチンコ遊技機はゲーム性の多様化やパチスロファンの取り込みなどにより予想以上に収益が上がり、パチンコホールの収益構造は確実に変化しました。

警察庁生活安全局生活環境課発表の「平成19年中における風俗関係事犯等について」によると、パチンコホール数は、平成18年に比べて1,089店舗減少し、13,585店舗となりました。また、遊技機設置台数はパチンコ遊技機が21,434台増加しましたが、パチスロ遊技機は367,622台減少し、合計346,804台減少の4,590,577台となりました。その結果1店舗当たりの遊技機設置台数は337.9台と平均で1.4台増加し、中小型店舗の世代交代が進んでおります。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチンコホールでは、金融環境の厳しさから大型の設備投資を抑える傾向があり、また改正建築基準法の影響から開店時期が延期となるケースも多く、前年に比べ新規出店件数が大幅に減少し厳しい結果となりました。

制御システム事業におきましては、パチスロ遊技機の入替投資が優先されたことや、市場投入機種数が減少したことにより販売台数は前年を大きく下回りました。

アミューズメントコンテンツ事業におきましては、携帯電話ゲームは健闘したもののコンシューマゲームが伸びず売り上げは前年を下回りました。

この結果、当連結会計年度の業績は、連結売上高364億66百万円（前期比22.7%減）、連結営業損失36百万円（同44億10百万円減）、連結経常利益7億79百万円（同84.2%減）、連結当期純損失1億87百万円（同4億16百万円減）となりました。

## 次期の見通し

パチンコ業界は、上期において、7月の北海道洞爺湖サミット開催にともなう遊技機の入替自粛や、前期から続く金融環境の厳しさから積極的な新規出店が抑えられることが予想されますが、多様化したパチンコ遊技機に対するファンの評価は高いものがあり、下期にかけてパチンコ遊技機を主軸に置いた設備投資が徐々に増えていくものと思われます。また、パチンコホールにおいては、多様化したパチンコ遊技機に適応した、集客と収益戦略の構築が必要不可欠な経営が迫られております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、顧客であるパチンコホールの店舗運営を強力に支援する新ブランド「MIRAIGATE」の普及と定着を推進し、顧客満足度と顧客密着度の高い新たなビジネスを構築していくことにより売上高213億円（前期比0.7%増）を計画しております。制御システム事業におきましては、遊技機の稼働貢献のために遊技機メーカーや役物メーカーと、より強固な協力体制を築き、企画提案力、開発力を高めて開発機種数および販売台数を増加させることにより売上高180億円（同34.1%増）を計画しております。アミューズメントコンテンツ事業におきましては、ブランド価値の向上に邁進し、コンシューマゲームでは受託ゲームソフトを事業の中核とすることにより売上高は20億円（同5.5%増）を計画しております。

この結果、連結売上高は413億円（同13.3%増）、連結営業利益は21億円（同21億36百万円増）、連結経常利益は23億円（同195.1%増）、連結当期純利益は11億円（同12億87百万円増）を計画しております。

## 業績の見通しに関する注意事項

本資料中に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

## 対処すべき課題

## &lt;情報システム事業&gt;

## 新ブランド「MIRAIGATE」の普及

## 1. MIRAIGATEシステムの拡販

パチンコホールや遊技客のニーズ・ウォンツに基づくパチンコホールへの集客支援・業務支援等の機能向上を、ネットワーク接続による付加価値向上とともに推し進め、システムの拡販に努めます。

## 2. MIRAIGATEネットワークの普及

MIRAIGATEネットワークにより、ホール運営に役立つコンテンツの効率的な配信と新たなメンテナンス体制の構築をはかり、付加価値を提供しつづけるランニングビジネスの確立を目指します。

## &lt;制御システム事業&gt;

## 1. 収益性の向上

グループの総合力を活かし、パチンコファンに喜ばれる機種開発により、一機種あたりの付加価値を高め、販売台数の増加を目指します。

## 2. 開発期間の短縮と機種数の増加

基板の汎用化を推進し、ハードウェア及びソフトウェアの標準化をはかります。また、企画開発においてグループ会社の業務領域を拡大し開発ラインの強化をはかることにより、開発機種数の増加を目指します。

## 3. 製造体制の構築

開発部門と連携し、設計段階の部品選択や共通化によりコストダウン、品質の安定化、在庫リスクの分散化をはかることにより、顧客から信頼される製造体制を構築します。

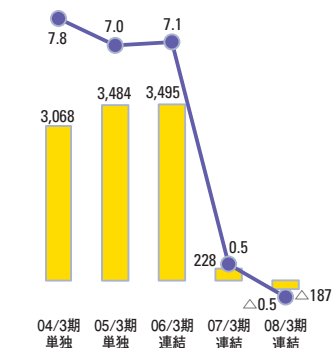
## &lt;アミューズメントコンテンツ事業&gt;

## ブランド価値の向上

企画力、技術力、品質を向上させ、その力を発揮することで、携帯キャリア各社や大手ゲーム会社の信頼を強め、事業を拡大していくことを目指します。

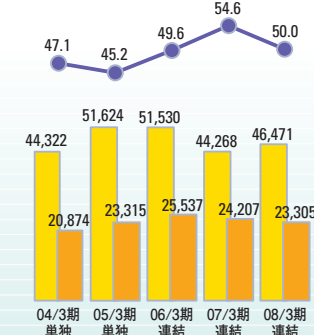
## ●当期純利益 (単位:百万円)

## ●売上高当期純利益率 (単位:%)



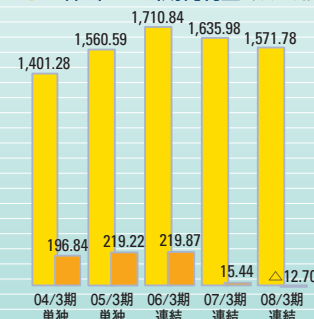
## ●総資産 ●純資産 (単位:百万円)

## ●自己資本比率 (単位:%)

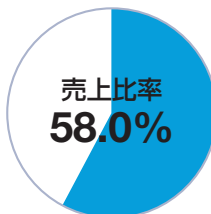


## ●一株当たり純資産 (単位:円)

## ●一株当たり当期純利益 (単位:円)



情報システム事業



当連結会計年度において、顧客であるパチンコホールでは、大量のパチスロ遊技機の新基準機への入れ替えや金融環境の悪化が影響し、例年に比べ新規出店等の設備投資を抑える動きが見られました。また、ホール運営においては、パチスロ遊技機の一部を、ゲーム性の多様化が進むパチンコ遊技機に入れ替える動きや、低貸玉料での営業で新たな遊技客を取り込む動きが見られました。

このような市場環境のなか、当事業は、ホール経営の支援をキーワードに10月に新ブランド「MIRAIGATE」をリリースしました。新ブランドは、ホールコンピューティングシステム「C II」や新型高機能呼出ランプ「VL-10」・「IL-A1」などの新しいシステム、DK-SIS・コンテンツライブラリーといったネットワークによる支援サービスと、ホール運営を身近でサポートする当社スタッフによって構築されます。年度後半は、新ブランドの普及と付加価値提供に努めてまいりましたが、パチンコホールの設備投資の減少による影響は厳しいものとなりました。

この結果、当事業の売上高は211億45百万円（前期比21.6%減）、営業利益21億8百万円（同58.9%減）となりました。



プレジャービジョン  
PV-55(R) II

ファンが求める情報とファンに伝えたい情報を効果的に結びつけた新しい情報公開ツール。サンド型のタッチパネルLCDで、過去のデータから本日のデータまで出玉推移グラフや大当たり発生履歴、ベスト台データなどグレードアップした多彩なデータがご覧いただけます。



呼出ランプ VL-10

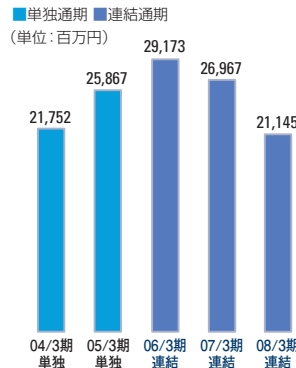
多様化する遊技台特性、ユーザー層に最適な情報を表示できるよう「見やすさ」と「情報量」を両立させたMIRAIGATEランプです。



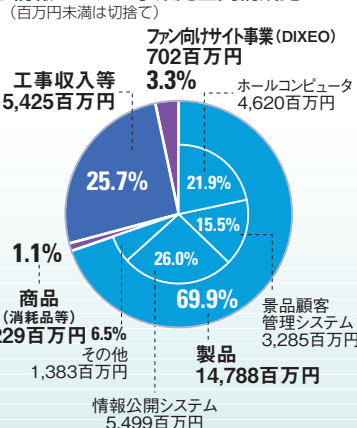
営業管理コンピュータ

パチンコホールの台管理・景品管理・顧客管理・映像管理・情報公開システムの総合営業管理を行い、パチンコファンの来店誘発の演出とセキュリティ強化に着目したホールコンピュータシステムです。台データ管理機能は従来の基本性能を継承し、新しく柔軟性と拡張性を実現しました。

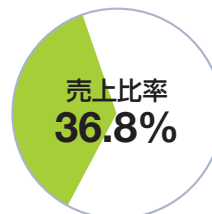
●情報システム事業売上高



●情報システム事業売上高構成比



制御システム事業



当連結会計年度における遊技機市場は、多くの遊技機メーカーで市場投入機種の商品力の見直しははかられたため、申請機種数、販売機種数がともに減少し、またパチンコホールにおいて設置有効期限の切れるパチスロ遊技機の入替えが優先的に行われた結果、パチンコ遊技機全体の出荷台数は対前年で約15%減少となりました。

このような市場環境のなか、当事業は期初計画していた販売機種数の減少と主力機種の販売台数低迷により、製品販売は74億円（前期比38.4%減）となりました。一方、商品販売は取り扱い商品が増えたことにより60億24百万円（同4.1%増）となりました。

この結果、当事業の売上高は134億24百万円（同24.6%減）、営業利益2億97百万円（同83.6%減）と大幅な減収となりました。



表示ユニット

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



制御ユニット

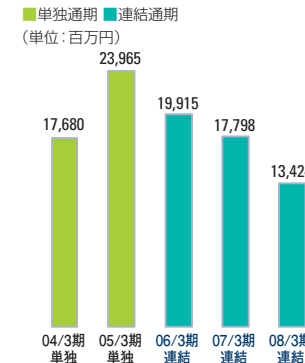
基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。



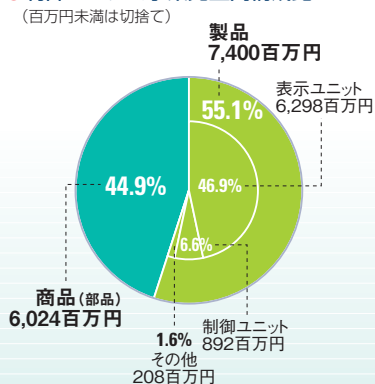
商品 (部品)

パチンコ遊技機に使用される液晶パネル、スイッチ、ソレノイドなどのオートメーションパーツの仕入販売をしております。

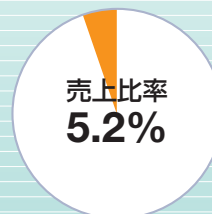
●制御システム事業売上高



●制御システム事業売上高構成比



アミューズメントコンテンツ事業



当連結会計年度におけるゲーム市場は、携帯用ゲーム機を中心に、新型の家庭用ゲーム機の普及が一段と進み、ゲーム機の世代交代の年となりました。

このような市場環境のなか、携帯電話ゲームにおいて、新技術に取り組み、NTTドコモの直感ゲームや音声認識ゲームなど新たなジャンルを開拓し好評でしたが、コンシューマゲームにおいて、リリースしたオリジナルタイトルが、プレイステーション3本体の普及遅れもあり販売が伸びず、前期を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は18億95百万円（前期比21.6%減）、営業損失3億95百万円（同41.8%増）となりました。

(単位：百万円、百万円未満は切捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	30,459	26,415
固定資産	16,011	17,853
有形固定資産	7,091	7,324
無形固定資産	1,476	1,714
投資その他の資産	7,443	8,813
繰延資産	0	—
資産合計	46,471	44,268
<b>負債の部</b>		
流動負債	21,034	19,564
固定負債	2,131	497
負債合計	23,165	20,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本	23,230	24,178
資本金	674	674
資本剰余金	680	680
利益剰余金	21,876	22,824
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	6	7
少数株主持分	69	21
純資産合計	23,305	24,207
負債純資産合計	46,471	44,268

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2007年4月 1日から 2008年3月31日まで	2006年4月 1日から 2007年3月31日まで
売上高	36,466	47,180
売上原価	25,755	31,125
売上総利益	10,710	16,055
延払販売未実現利益控除	121	—
延払販売未実現利益戻入	—	—
差引売上総利益	10,589	16,055
販売費及び一般管理費	10,626	11,681
営業利益又は損失 (△)	△36	4,373
営業外収益	980	692
営業外費用	164	133
経常利益	779	4,932
特別利益	312	50
特別損失	507	2,524
税金等調整前当期純利益	584	2,458
法人税、住民税及び事業税	693	2,066
法人税等調整額	30	203
少数株主利益又は損失 (△)	47	△40
当期純利益又は純損失 (△)	△187	228

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2007年4月 1日から 2008年3月31日まで	2006年4月 1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	379	4,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,258	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	590	△2,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	0
現金及び現金同等物の増加額	2,220	1,493
現金及び現金同等物の期首残高	12,105	10,611
新規連結子会社分現金及び現金同等物の期首残高	21	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,347	12,105

当連結会計年度 2007年4月1日から2008年3月31日まで	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2007年3月31日残高	674	680	22,824	△0	24,178	7	21	24,207
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△739	—	△739	—	—	△739
当期純損失	—	—	△187	—	△187	—	—	△187
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	△0
新規連結子会社の増加に伴う減少	—	—	△21	—	△21	—	—	△21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1	47	46
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△948	△0	△948	△1	47	△901
2008年3月31日残高	674	680	21,876	△0	23,230	6	69	23,305

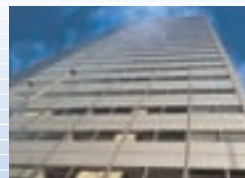
(単位：百万円、百万円未満は切捨て)

科 目	当事業年度	前事業年度
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	29,583	24,959
固定資産	16,278	17,913
有形固定資産	6,777	7,219
無形固定資産	1,425	1,630
投資その他の資産	8,076	9,063
資産合計	45,862	42,873
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,843	17,931
固定負債	2,018	311
負債合計	21,861	18,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本	23,993	24,622
資本金	674	674
資本剰余金	680	680
利益剰余金	22,640	23,268
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	6	7
純資産合計	24,000	24,630
負債純資産合計	45,862	42,873

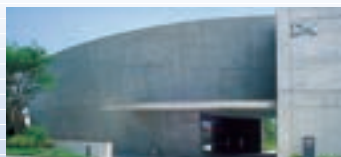
当事業年度 2007年4月1日から2008年3月31日まで	株主資本							自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	自己株式				
2007年3月31日残高	674	680	30	2	20,000	3,236	23,268	△0	24,622	7	24,630
事業年度中の変動額											
特別償却準備金の取崩	—	—	—	△2	—	2	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△739	△739	—	△739	—	△739
当期純利益	—	—	—	—	—	110	110	—	110	—	110
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△0	△0	—	△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△1	△1
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△2	—	△626	△628	△0	△628	△1	△629
2008年3月31日残高	674	680	30	—	20,000	2,610	22,640	△0	23,993	6	24,000

(2008年6月27日現在)

●商号	ダイコク電機株式会社 DAIKOKU DENKI CO., LTD.																												
●創業	1964年12月																												
●設立	1973年 7月																												
●資本金	6億7千4百万円(発行済株式総数14,783,900株)																												
●本社	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階																												
●従業員数	(単独)445名 (連結)683名 (2008年3月31日現在)																												
●事業内容	パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売 パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売																												
●役員	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>栢 森 雅 勝</td> </tr> <tr> <td>代表取締役副社長</td> <td>栢 森 秀 行</td> </tr> <tr> <td>代表取締役専務</td> <td>栢 森 健 健</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>岩 根 節 雄</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>平 原 正 義</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>山 下 陽 陽</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>橋 本 忠 巳</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>根 本 弘 弘</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>堀 田 昌 郎</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>國 保 徳 丸</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>伊 東 幹 夫</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>田 中 正 雄</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>敷 田 稔 稔</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>村 橋 泰 志</td> </tr> </table>	代表取締役社長	栢 森 雅 勝	代表取締役副社長	栢 森 秀 行	代表取締役専務	栢 森 健 健	常務取締役	岩 根 節 雄	取締役	平 原 正 義	取締役	山 下 陽 陽	取締役	橋 本 忠 巳	取締役	根 本 弘 弘	取締役	堀 田 昌 郎	取締役	國 保 徳 丸	常勤監査役	伊 東 幹 夫	監査役	田 中 正 雄	監査役	敷 田 稔 稔	監査役	村 橋 泰 志
代表取締役社長	栢 森 雅 勝																												
代表取締役副社長	栢 森 秀 行																												
代表取締役専務	栢 森 健 健																												
常務取締役	岩 根 節 雄																												
取締役	平 原 正 義																												
取締役	山 下 陽 陽																												
取締役	橋 本 忠 巳																												
取締役	根 本 弘 弘																												
取締役	堀 田 昌 郎																												
取締役	國 保 徳 丸																												
常勤監査役	伊 東 幹 夫																												
監査役	田 中 正 雄																												
監査役	敷 田 稔 稔																												
監査役	村 橋 泰 志																												
(注) 1. 取締役 堀田昌郎氏、國保徳丸氏は社外取締役であります。																													
2. 監査役 田中正雄氏、敷田稔氏、村橋泰志氏は社外監査役であります。																													



本社



本部事業所

## ●事業所一覧

本 社	〒450-8640	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル TEL(052)581-7111(代表)
本部事業所	〒480-0395	春日井市坂下町1丁目875 TEL(0568)88-7111
高蔵寺事業所	〒487-0014	春日井市気噴町1丁目2番地 TEL(0568)51-7111
春日井事業所	〒480-0304	春日井市神屋町1番26 TEL(0568)88-7771
TOKYO デザインスタジオ	〒169-0072	東京都新宿区大久保1丁目3番21号 新宿TXビル

## ●拠点一覧

東日本支店	〒110-0005	東京都台東区上野七丁目2番10号 上野駅前第一生命ビル
・茨城営業所	〒305-0032	つくば市竹園二丁目2番地4 第2・ISSEIビル
・北関東営業所	〒330-6022	さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心L.A.タワー
・新潟出張所	〒950-0925	新潟市中央区弁天橋通1丁目2番39号 VMビルディング
・仙台営業所	〒980-0014	仙台市青葉区本町二丁目2番3号 鹿島広業ビル
・札幌営業所	〒001-0011	札幌市北区北十一条西四丁目1番地44 ベルエアプラザ
・盛岡出張所	〒020-0045	盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 マリオス
中 部 支 店	〒480-0304	春日井市神屋町1番26
・金沢出張所	〒920-0027	金沢市駅西新町3丁目9番26号
・松本出張所	〒390-0852	松本市大字島立399番地1 滴水ビル
西日本支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪北ビル
・岡山営業所	〒700-0927	岡山市西古松一丁目1番26号 オム第Ⅱビル
・高松出張所	〒761-8071	高松市伏石町795番地1 丸忠Ⅲビル
九 州 支 店	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南二丁目1番9号 ヤマ工博多駅南ビル
・広島営業所	〒730-0004	広島市中区東白島町14番15号 NTTクレド白島ビル
・宮崎出張所	〒880-0801	宮崎市老松一丁目3番3号 松屋ビル

## ●関係会社

●連結子会社	DIXEO株式会社、元気株式会社、元気モバイル株式会社、DO株式会社
●関連会社	株式会社ラビス

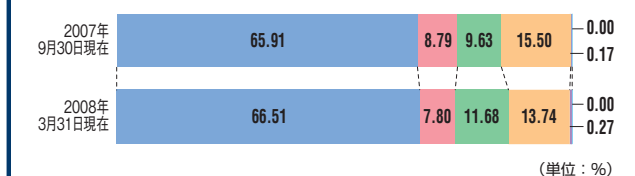
(2008年3月31日現在)

## ●株式状況

発行可能株式総数	66,747,000株
発行済株式総数	14,783,900株
株主数	3,876名

## ●所有者別株式分布状況

	2008年3月31日現在		2007年9月30日現在	
■個人・その他	9,833,368株	3,670名	9,744,685株	3,432名
■金融機関	1,153,000株	27名	1,299,600株	31名
■その他国内法人	1,726,900株	69名	1,423,200株	70名
■外国人	2,030,668株	85名	2,292,000株	92名
■証券会社	39,774株	24名	24,275株	23名
■自己名義株式	190株	1名	140株	1名
合計	14,783,900株	3,876名	14,783,900株	3,649名



## ●持株数別株式分布状況

	2008年3月31日現在		2007年9月30日現在	
1単元未満	541株	45名	390株	25名
1単元以上5単元未満	413,880株	2,441名	396,500株	2,366名
5単元以上10単元未満	270,992株	459名	251,321株	428名
10単元以上50単元未満	1,261,104株	766名	1,102,199株	679名
50単元以上100単元未満	384,750株	57名	339,750株	49名
100単元以上500単元未満	1,626,318株	83名	1,623,100株	78名
500単元以上1,000単元未満	477,175株	7名	484,350株	7名
1,000単元以上5,000単元未満	1,733,100株	8名	1,968,900株	8名
5,000単元以上	8,615,850株	9名	8,617,250株	8名
合計	14,783,710株	3,875名	14,783,760株	3,648名

(注) 1. 2007年9月30日現在の持株数別株式分布状況には、自己名義株式1名140株を含んでおりません。

2. 2008年3月31日現在の持株数別株式分布状況には、自己名義株式1名190株を含んでおりません。

## ●大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森 雅勝	1,885,650	12.75
栢森 健	1,771,900	11.99
財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 秀行	737,500	4.99
栢森 寿恵	737,250	4.99
栢森 新治	737,150	4.99
栢森 隆	712,500	4.82
メロンバンク トリーティー クライアーツ オムニバス	657,900	4.45
栢森 美智子	626,000	4.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	406,100	2.75
HKコーポレーション株式会社	304,000	2.06
ダイコク電機従業員持株会	302,300	2.04
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505019	206,800	1.40
株式会社みずほ銀行	150,000	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	136,800	0.93
メロンバンク ノントリーティー クライアーツ オムニバス	122,200	0.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	104,900	0.71
ステートストリートバンクアンドトラストクライアントオムニバスアカウントオムニバス	87,800	0.59
ノーザントラストカンパニー(エイブイエーション)サブアカウントアメリカンクライアント	78,200	0.53
バンクオブニューヨーク&レオクレアットアカウントソレバニールファイブエイブイエーション	74,900	0.51

## ●株価及び出来高の推移



## 株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
- **定時株主総会** 6月下旬
- **基準日**  
定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- **株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
TEL. 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
- **同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
- **公告方法** 電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によつて電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告のホームページアドレス <http://www.daikoku.co.jp/>

### 〈お知らせ〉

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

### IR情報メール配信サービス

当社は、投資家の皆さまに対して電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた方々に当社ホームページ (<http://www.daikoku.co.jp/>) に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の株主さまは、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信で登録」ボタン、またはディア・ネットサービスホームページ (<http://www.dirnet.jp/6430>) から、簡単にご登録 (無料) いただけます。



〒450-8640 名古屋市中区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階  
TEL (052) 581-7111 (代表)  
ホームページ <http://www.daikoku.co.jp>

